



11月中旬から急に寒くなり、子どもたちも「さむいなあ〜」「こおり人間になっちゃうよ」と、寒さを実感しているようでした。しかしその寒さの中、園庭に出る時間になると我先にとばかりに戸外に広がり、園庭を駆け回ります。気持ちが一段落すると友だちと声をかけ合いごっこ遊びが始まっているようです。体と気持ちが一度発散すると、その後の生活もスムーズに行えるようです。子どもたち曰く、あとは「もっと寒くなって雪が降るのを楽しみにするんだ!」。このように考えられる子どもたちは、本当にすばらしいです。私たち大人も、プラス思考でいきたいものです……。



さて、間もなく「保育展」です。保育展では、子どもたちの考える力や物作りにこだわる力、そして毎日の生活の営みで獲得してきた生活力の成長を見ていただきたいと思います。他人の子と比較するのではなく、わが子が4月からまたは入園からどれくらい成長してきたのかを親子で確認していただければと思います。大人は、つつい見栄えがよく整った絵を「よし」と認めがちです。ものを描いたり製作することは、心の表現です。「あの時おもしろくて笑いころげた!」、「あの時、力を入れてがんばった」など



心に残ったものが現われるようなものにしてほしいなあと思います。保育展では、わが子の作品に対する思いを聞いてあげ、ほめてください。それがなによりのごほうびです。

わくわくタイム(縦割保育)が始まります

12月よりも、ふじ、ばら組のクラスの枠をはずし、3クラスが縦割りでグループをつくり活動する“わくわくタイム”が始まります。異年齢の子どもたちがその中でいろんな力を発揮してくれます。年上の子は年下の子の面倒をみてあげたり、年下の子は年上の子への憧れと優しさを実感することになるのです。わくわくタイムでは、毎年テーマを掲げて取り組んでいきます。ちなみの昨年度は、「みんなのまちの地図を作ろう」でした。さて、今年のお楽しみテーマは何になるのでしょうか。



12月の行事予定表

- 2日(土)保育展・バザー準備
- 3日(日)保育展・バザー開催
- 9日(土)最終引越し(午後〜)
- 13日(水)誕生会
- 19日(火)避難訓練
- 20日(水)わくわくタイム①
- 21日(木)もちつき会、お弁当の日
- 25日(月)クリスマス会
- 26日(火)わくわくタイム②
- 28日(木)仕事納め

保育展 10時オープン!
(14:30まで)
食品バザー 10時オープン
(14:00まで)
物品バザー 11時オープン



12月29日~1月3日までお休みです

休日保育 12月24日(日)が今年最後です。
年明けて1月7日(日)から始まります。



ささやま消防隊 出動!

11月9日、全国防災運動の一環として「ささやま幼年消防クラブ」の子どもたちが、防災啓発のパレードを行いました。消防第一分団の皆さん、女性防災クラブの皆さん、消防副署長さんも一緒に総勢80人と消防車2台が参加。法被姿に拍子木を打ちながら校区の皆さんに呼びかけました。街角では、保護者の皆さんの声援や通行人の方に「わあ かっこいい」、「がんばってね」と声をかけていただき、一段と声が大きくなっていました。ご家庭でも、「火遊び」のおそろしさを話し下さい。

(ライターやストーブに触らない事等)



●子育て相談室

「ことばづかいがわるくなりましたが・・・」(3才5ヶ月)



子どもの人間関係の広がりとともに、ことばはどんどん増え、それと同時に乱暴なことばも覚えるようになります。大人はびっくりして強いたしなめがちですが、子どもは意識的に使っているわけではないので、「そんな言い方をしてはだめ」と軽くたしなめる程度にしておきます。ことばは話しながら使い方をマスターしていくので、保育園や家庭生活の中でまわりの大人がよいことばを使っていれば、それを手本に子どもたちは次第に時と場に応じた使い方を身につけていきます。

「部屋中におもちゃを出して遊ぶのですが、片づけをなかなかやってくれません」(1才10ヶ月)

この時期の子どもたちは、興味の持続時間が短く、次から次へとおもちゃを出しては、すぐ次の遊びへ興味が移ってしまいます。こうした遊びは、一見、無駄なことのように思えますが、子どもが「物」とのかかわりを広げる上で、誰でも通過する成長のための1ページです。親子で楽しめる片づけ方法を工夫するといと思います。簡単な指示を理解できるようになった子に「ゴミ箱にポイしてね」などと声をかけたり、「お人形もねんね」などと遊び感をたのしみながら一緒にかたづけしてみましょう。大きな箱を用意して、おもちゃはその中に、といった大まかな片づけ方で、気楽に取り組むことをおすすめします。



「心を豊かにする子どものことば」

思わず吹き出したり、ハッとさせられたり。子どものことばには、何とも言えない力があふれています。ちょっと忘れていた、自分の子ども時代を思い出し、きっと力が湧いてくるといいます。

☆どろだんごを持って(5才)

「したに おいちゃだめだよ よごれるからね」



☆便秘ぎみの男の子 トイレから出てきて(4才)

「ぼくのうんち ほねがあって、
でてくるとき いたかった」



☆子ども同士の会話(5才)

A:「きのう、おばあちゃんちに いったんだ」

B:「どんな おばあちゃん?」

A:「いきている おばあちゃん」

